

生活援助技術論Ⅰ（感染・環境・活動・食事の援助技術）

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、看護専門基礎講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 9時間 演習 15時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学修方針（講義概要等）

看護技術は、看護の専門知識に基づいて、看護の対象となる人の安全・安楽・自立を目指した行為であることを学ぶ。そして、看護実践に共通する感染予防・観察の技術など基本的な技術と療養生活を支援するための技術について、講義と演習を通して学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

実施する看護技術（感染・環境・活動・食事の援助技術）の原理・原則を理解し、援助実施の際には相手を尊重し、安全安楽な援助方法を考えて実践できるようになる。授業内容の理解、演習への積極的な参加、主体的な自己学修（視聴覚教材の利用を含む）を通してその方法を身に付けることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4

・到達目標（SBO）

1. 看護と看護技術の関連性、実践するための知識・技術・態度について説明することができる。
2. 看護師がコミュニケーションの技術を用いて、看護実践を行う重要性を述べることができる。
3. 感染予防の意義、感染を成立させる要素と成立過程を説明できる。
4. スタンダードプリコーションとは何か述べることができる。
5. 手指衛生の方法、個人防護用具の使用方法を説明できる。
6. 感染予防対策としての手指衛生を実施できる。
7. 個人防護用具の着脱が実施できる。
8. 人間にとっての環境の意味と快適な環境をつくる方法について説明できる。
9. 根拠に基づいたベッドメイキングが実施できる。
10. 根拠に基づいた臥床患者のシーツ交換が実施できる。
11. 患者と看護師の双方に負担をかけない姿勢と動作を説明できる。
12. 活動・運動の意義と援助の目的について説明できる。
13. 運動機能の維持・回復のための援助を説明できる。
14. 体位変換の目的、方法、留意点について説明できる。
15. ボディメカニクスの原則に基づいた体位変換が実施できる。

16. 車椅子・ストレッチャーでの移動方法、留意点について説明できる。
17. 相手の反応を確認しながら、安全な移動の援助が実施できる。
18. 食事・栄養摂取の意義とそのしくみ、援助の目的を説明できる。
19. 経口摂取できる患者への食事介助の方法と留意点を説明できる。
20. 経口摂取以外の栄養摂取方法について挙げることができる。
21. 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた食事介助および口腔ケアの実施ができる。
22. 看護に必要な患者の情報を収集するための方法を説明できる。
23. 看護に必要な患者の情報を収集するための方法を実施できる。
24. 演習で経験する技術修得に向けて主体的に行動することができる。

・授業日程

(矢) 西 1-A 講義室、(矢) マルチ 2-A 実習室、(矢) マルチ 2-B 実習室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
5/8 (月) 3 限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授	看護技術とは 人間関係を成立・発展させるための技術 ・看護と看護技術の関連性, 実践するための知識・技術・態度について説明することができる ・看護師がコミュニケーションの技術を用いて、看護実践を行う重要性を述べる 【事前学修】 ・教科書 P17～19 を読んでくる 【事後学修】 ・講義資料を復習する
5/8 (月) 4 限	看護専門基礎講座 一ノ渡 学 講師	感染予防を推進する技術 ・感染予防の意義、感染を成立させる要素と成立過程を説明できる ・手指衛生の方法、個人防護用具の使用方法を説明できる ・スタンダードプリコーションとは何か述べる 【事前学修】 ・教科書 p118 感染症を成立させる要素と成立過程について読んでくる 【事後学修】 ・講義資料を復習する
5/22 (月) 4 限	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 特任准教授	効率的で安楽な動きをつくり出す技術快適な環境をつくる技術 ・人間にとっての環境の意味と快適な環境をつくる方法について説明できる ・患者と看護師の双方に負担をかけない姿勢と動作を説明できる ・リネンの種類、ベッドメイキングの方法を説明できる 【事前学修】 ・教科書 p30～42 快適な環境をつくる技術について読んでくる 【事後学修】 ・講義資料を復習する

5/23 (火) 1限	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師	活動・運動を支援する技術 ・活動・運動の意義と援助の目的について説明できる ・運動機能の維持・回復のための援助を説明できる 【事前学修】 ・教科書 p204～208 活動・運動の意義と生理的メカニズムについて読んでくる 【事後学修】 ・講義資料を復習する
6/26 (月) 3限	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師	食事・栄養摂取を促す技術 ・食事・栄養摂取の意義とそのしくみ、援助の目的を説明できる ・経口摂取以外の栄養摂取方法について挙げることができる 【事前学修】 ・教科書 p148～154 食事・栄養の意義と生理的メカニズムについて読んでくる 【事後学修】 ・講義資料を復習する
7/6 (木) 4限	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 特任准教授	生命の徴候を観察する技術 ・看護に必要な患者の情報を収集するための方法を説明できる 【事前学修】 ・「看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント」 p34～83 バイタルサインについて読んでくる 【事後学修】 ・講義資料を復習する

【演習】

月日 (曜) 時限	講座(学科)	授業内容/到達目標
5/15 (月) 3限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	感染予防を推進する技術（手指衛生）（個人防護用具の使用方法） ・感染予防対策としての手指衛生を実施できる ・個人防護用具の着脱が実施できる 【事前学修】 ・事前に配布したチェックリストを読んでくること ・メディカ AR を用いて教科書 p127「手洗い動画」、p128「アルコール製剤による手指消毒」を視聴してくること 【事後学修】 ・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
5/29 (月) 3限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	快適な環境をつくる技術（ベッドメイキング） ・リネンの種類、ベッドメイキングの方法を説明できる ・根拠に基づいたベッドメイキングができる 【事前学修】 ・WebClass に提示された、臥床患者のシーツ交換の動画を視聴する 【事後学修】 ・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する

<p>5/29 (月) 4限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師</p>	<p>快適な環境をつくる技術（臥床患者のシーツ交換） ・ 根拠に基づいた臥床患者のシーツ交換ができる 【事前学修】 ・ WebClass に提示された、臥床患者のシーツ交換の動画を視聴する 【事後学修】 ・ 演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する</p>
<p>6/5 (月) 3限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師</p>	<p>活動・運動を支援する技術（体位変換） ・ 体位変換の目的、方法、留意点について説明できる ・ ボディメカニクスの原則に基づいた体位変換が実施できる 【事前学修】 ・ 事前に配布したチェックリストを読んでくること ・ メディカ AR を用いて教科書 p216「体位変換」、p218「仰臥位から直接端座位へ」を視聴してくる 【事後学修】 ・ 演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する</p>
<p>6/5 (月) 4限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師</p>	<p>活動・運動を支援する技術（車椅子）（ストレッチャー） ・ 車椅子・ストレッチャーでの移動方法、留意点について説明できる ・ 相手の反応を確認しながら、安全な移動の援助が実施できる 【事前学修】 ・ 事前に配布したチェックリストを読んでくること ・ メディカ AR を用いて教科書 p219「起立・着座の介助」「自然な立ち上がり動作」、p231「車椅子への移動」、p234「車椅子での移送」を視聴してくる 【事後学修】 ・ 演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する</p>
<p>6/26 (月) 4限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師</p>	<p>食事・栄養摂取を促す技術（食事介助）（口腔ケア） ・ 経口摂取できる患者への食事介助の方法と留意点を説明できる ・ 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた食事介助および口腔ケアの実施ができる 【事前学修】 ・ 事前に配布したチェックリストを読んでくること ・ 講義で説明した Web Class の動画を視聴して演習に臨むこと。 【事後学修】 ・ 演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する</p>
<p>7/3 (月) 3限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師</p>	<p>総合演習（技術到達度の確認） ・ これまで学んできた看護技術の中で、指定した看護技術を原則に基づき、実施することができる 【事前学修】 ・ 指示された課題の自主練習を行う 【事後学修】 ・ フィードバックされた内容を見直す</p>
<p>7/3 (月) 4限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師</p>	<p>総合演習（技術到達度の確認） ・ これまで学んできた看護技術の中で、指定した看護技術を原則に基づき、実施することができる</p>

7/10 (月) 3限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	生命の徴候を観察する技術 ・看護に必要な患者の情報を収集するための方法を実施できる 【事前学修】 ・「看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント」p34 バイタルサイン測定の流れ、p42 腋窩での体温測定、p58 脈拍測定、p69 血圧測定聴診法、p73 血圧測定触診法、p80 呼吸測定について掲載されているQRコードを読み込み、動画を視聴する ・事前課題用紙にバイタルサイン測定の根拠・留意点を記載する 【事後学修】 ・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
7/10 (月) 4限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	生命の徴候を観察する技術 ・看護に必要な患者の情報を収集するための方法を実施できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護実践のための援助技術 第1版	松尾ミヨ子 城生弘美 習田明裕 金壽子 編集	メディカ出版	2022
参	看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第1版	医療情報科学研究所 編集	MEDIC MEDIA	2018
参	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 第3版	任和子 井川順子 編集	医学書院	2021

・成績評価方法

筆記試験 70 点、（多肢選択、穴埋めと記述）、技術到達度の確認・演習への取り組み 30 点の合計 100 点とする

*技術到達度の確認は評価表に基づき評価する（配点 30 点）

*演習への取り組みは、以下の内容とする

- ・演習前の事前課題・事後課題の記載内容の不足は、1 回につき 1 点減点。
- ・最終期限までに課題の未提出がある場合、1 回につき 3 点減点。
- ・演習では援助者として必要な身だしなみの準備（指定した服装、爪を短く切る、髪をまとめる、上履きあるいはナースシューズの準備、名札を着用する等）が必要となるため、演習時に数回にわたりチェック表を用いて確認する。指導後も 4 回以上不適切な準備が見られた場合は 3 点減点。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

- ・シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で授業に臨むこと。
- ・本科目での指定の教科書だけでなく、解剖生理学など広く授業内容に関連した教科書の章を事前に読んで参加すること。

- ・演習開始前には、関連する教科書の章および配布資料を読む、“e ナーストレーナーの動画”または、“WebClass にあげた動画”の視聴覚教材を視聴するなど、イメージトレーニングを行って、学修のポイントを理解した上で参加すること。また、各回で予習復習を目的とした学修課題が提示されるため、その課題に取り組むこと。
- ・各授業について、最低 30 分以上の事前学修を要する。看護技術の修得は、繰り返し実施することが必要なため、授業終了後も主体的に技術練習を行い、自己学修を重ねて知識と実技の定着に努めること。
- ・授業時間を有効に使用するために演習時は物品片付けで授業時間外になることがある。
- ・演習の準備と片付けに主体的に参加すること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・レポート等の課題は、適宜コメントし返却する。
- ・技術到達度の確認は評価表に基づき評価し、学生にフィードバックする。
- ・演習後の質問の回答、課題の解説を WebClass に掲載するので、確認すること。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野 基礎看護学

- ・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン（DELL New Inspiron 15(5515)）	1	講義
演習	ベッド・シーツ類・折りたたみカート	24	全項目共通で使用
演習	グリッターバグ	12	手指衛生
演習	ロンボ ポジショニングピロー導入セット 5 種類（6 個）	12	体位変換
演習	ストレッチャー	2	移乗・移送
演習	車椅子	12	移乗・移送
演習	ガーグルベースン	24	口腔ケア
演習	電子体温計	24	生命徴候の観察
演習	アネロイド血圧計	24	生命徴候の観察
演習	パルスオキシメーター	10	生命徴候の観察